

# 学校経営

## 1 教育方針

急激な変化を遂げ、先行きが見通しにくいこれからの時代を、主体的に生き抜く人材の育成が求められている。そこで本校では、児童が自ら疑問を見つけ、問いを立て、解決に向かう学びを通して、ふるさと新城、気仙沼市の自然・歴史・伝統・文化の中で育てられていることを実感できる教育活動を充実させる。これにより、将来の希望や目標をもち、その実現に向かって歩み続ける力（自立）を育む。その学びの過程においては、自分の力で課題を解決する経験や、仲間と協働して解決する経験を重ねることが重要である。そうした経験の積み重ねを通して、学ぶ喜びや楽しさを実感し、自己有用感を高めるとともに、心身や生活を整えながら（自律）、くじけずに課題解決に向かう児童の育成に努める。さらに、学びを深め合う土台として、多様な他者の価値観を尊重し、他者を思いやる感性（他者尊重）を、教育活動全体を通して育成する。

## 2 学校教育目標

### (1) 学校教育目標

楽しく学び、未来をひらく子どもの育成 ～自立・自律・他者尊重～

### (2) 目指す児童像

- しんせつにやさしくする子（相手の思いを受け止める）
- 「ん？」を見つけて学びに向かう子
- じょうぶな心と体をつくる子

## 3 学校経営構想

### (1) 目指す学校像

- 子どもも教師も楽しんで学ぶ学校
- 安全・安心で誰もが明日来たいと思える学校
- 地域と共に歩む学校

### (2) 目指す教師像

- 子どもと伴走する教師
- 自律的に学び続ける教師
- チーム学校の一員として協働する教師

### (3) 組織アクションプラン

#### 【学び（知育）プラン】

（探究×STEAM×情報活用）

- ・傾聴の習慣化（人の話をしっかり聞く意識を身に付けさせる）
- ・疑問を出発点とした課題解決型学習（ためす・表現する・伝える）
- ・教科横断（STEAM教育）による地域・身近な課題と学びの接続（SDGs、ESDを意識した「ひと・こと・もの」と出会い、考える学習展開）
- ・観察・実験・データ活用・モデル化・プログラミング等を通じた情報活用能力の育成
- ・「楽しい・うれしい・もっと知りたい」が続く学びのデザインの日常化
- ・読書習慣の形成（すき間読書の推進）

#### 【徳育プラン】

（包摂×安心×学びに向かう力）

- ・温かな人間関係と心地よい居場所づくりを学校生活の土台にした学級・学校づくり

- ・規範意識と他者尊重、当事者意識を育成したよりよい学級づくり
- ・SST等を含む生徒指導・情操教育によるいじめ・不登校の未然防止
- ・特別支援（個別の計画の整備と活用）による学びの保障
- ・情報モラル・情報セキュリティの育成
- ・地域資源×体験×探究による、ふるさと愛・地域愛、将来の夢・希望の育成

### 【体育プラン】

（ウェルビーイング×生活×学びの土台）

- ・運動時間の確保、外遊びの奨励と場の設定、体育の工夫で体力向上を年間推進
- ・睡眠、衛生管理、食育、メディアコントロールで望ましい生活習慣を形成（セルフコントロール）
- ・折れない強さに加え「整える力」を大切に、学びへ戻れる習慣を育成
- ・気持ちのよい挨拶を核に、安心感とつながりのある学校文化づくり

### （４）学校教育を支える共通基盤

【共通基盤（土台）】～地域 × 安全～

- 地域との連携：地域資源の積極的活用、学校運営協議会、新月公民館、保幼小中、地域ボランティア
- 安全・防災・防犯・交通安全を含めた、安心して学べる環境、体制づくり

### （５）業務改善の視点

- ・「トライ&エラー&トライ」を合言葉に挑戦を重ね、称賛・承認で挑戦を促す。
- ・「安全、人権（特別支援を含む）、合理性」の三つの視点で、教育活動と校務を点検する。
- ・10%（1割）の工夫・改善で持続可能な学校づくり（校務効率化・統合化で余白創出）を進める。